

町会長連合会だより



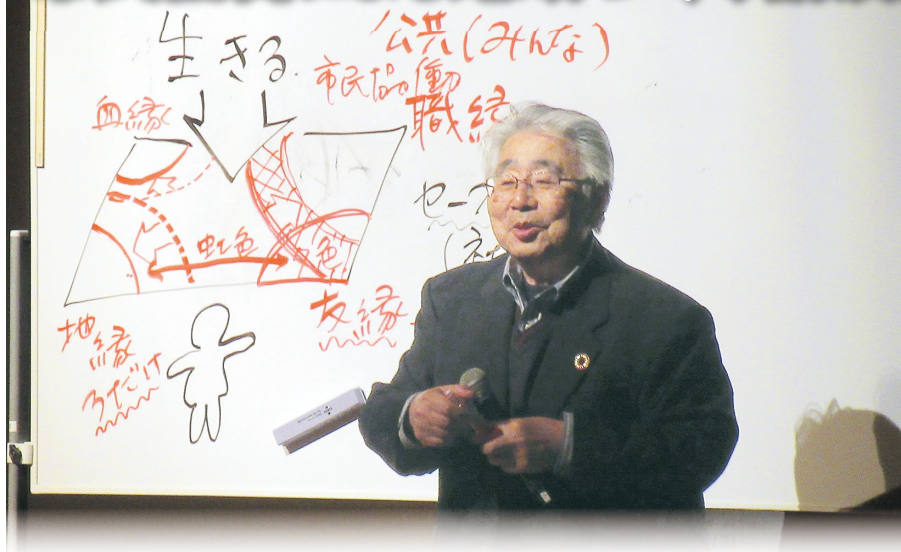
唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山

令和5年3月1日

第28号

発行 佐野市町会長連合会
編集 会報編集部会

市民協働による地域づくり講演会を開催しました!



令和4年10月28日(金)、佐野市文化会館にて市民協働による地域づくり講演会を、町会長連合会と佐野市、一般財団法人自治研修協会との共催で実施しました。

令和元年東日本台風とコロナ禍の影響により平成30年度の開催を最後に、長らく講演会が開催できておりませんでした。が、今年度実に4年ぶりに、開催することができました。

当日は、町会長や町会役員をはじめ約200人が来場し、大盛況となりました。今回の講演会では茨城県生涯学習社会教育研究会会長の長谷川幸介先生に講師を務めていただきました。先生のトークはご自身の経験などを交えて非常にユーモアに富んでおり、会場内は大いに湧き、とても充実した2時間となりました。

講演の中では、人間は長い時間の中で「1人では生きられない」とくに気付く、自分たちが幸せになるため、多様な「つながり」を作ってきた歴史があり、町会もその「つながり」の一つであるということが語られました。また、みんなが幸せになるために生み出された町会は、個人のメリットやデメリットのみで考えるべきものではないという先生のお言葉も、町会の将来を考えていく上で、非常に勇気付けられるものでした。

そして、町会を取り巻く社会は、AI時代、人生100年時代の到来やW-I-T-Hコロナなど、時代の流れとともに変化し

続けており、その変化に対応し、次の世代に町会という幸せ装置を受け継いでいくことの必要性も訴えられておりました。

また、先進事例にも触れられており、オンライン会議を頻繁に行っている町会や、高校生ボランティアにスマートフォンを使い方講座をお願いしている町会などの紹介もありました。

その他にもさまざまな教えをいただき、参加者からは「町会活動をする上で大変参考になった」「先生の講演をもう一度聞きたい」など多くの高評価をいただきました。

町会長連合会では、今後とも町会運営の参考にしていただくため、同様の講演会を開催していくことを予定しております。

講演会に参加して

連合会副会長(会沢第二町会長)

大出 治夫

長谷川幸介先生のご講演は大変面白く、親しみやすい雰囲気でした。身近な内容で、どれもうなずけるものばかりでしたが、今まで意識していなかった視点に気付かされた気がします。特に、「自分」だけ「今」だけ「お金」だけの「三だけ」のお話など興味の尽きないものでした。今後の町会活動にいかせるような内容盛りだくさんで、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

花火とキッチンカーでにぎわう 植野地区コミュニティ祭り4年ぶりに開催！

植野地区コミュニティ祭り実行委員会委員長
(若宮上町町会 町会長) 塚田 芳夫



令和4年11月26日(土)、午後1時から午後6時30分まで、秋晴れの澄み切った空の下、植野地区公民館において、植野地区コミュニティ祭りが同実行委員会の主催で開催されました。



のまる一との記念撮影、輪投げやバレーボールも行いました、とても行いまでも非常に人気がで、行列がでるほどでした。



当日は家族連れの方など約1000人が来場し、楽しいお祭りとなりました。

このコミュニティ祭りは、令和元年東日本台風の影響を受けたことや、その後の新型コロナウイルスの感染拡大により中止となっていたため、今回は4年ぶりの開催となりました。

また、昨年に引き続き、新型コロナウイルス撲滅を祈願する花火大会が行われ、打ち上げ地点の植下町の農地周辺には多くの人が集まりました。午後6時から約30分間、300発の花火が夜空を飾り、この花火には植野地区住民のコロナ撲滅にかけの願いが込められました。

催し物としては、まず、空くじなしの福引大会を行いました、これには多くの事業所からの協賛を受け、多くの子どもと大人たちに楽しんでもういただき大盛況となりました。



他にも、黒から揚げや焼きそば、ベビーカーなど7台のキッチンカーが公民館の敷地内に集結し、さらには一さ

5年ぶり「赤坂町文化祭」開催

赤坂町町会 町会長 齋藤 武男



令和元年東日本台風による秋山川決壊被災、引き続きいた新型コロナウイルス感染症拡大等での各種事業の中止状況が続きましたが、本年収束の見通しが見えはじめ11月12日・13日の2日間、皆さまのご尽力により隔年で実施していただきました赤坂町文化祭が開催の運びになりました。

公民館内展示は79名(小人29名含む)107点の絵画・書道・写真・彫刻・切り絵・手芸・夏休み工作物等

数多く出展が得られ、屋外ステージでは大正琴・オカリナ演奏が日頃の練習の成果を披露いたしました。



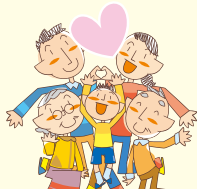
新型コロナウイルス感染症対策のため役員皆さまの計らいで、マスク着用・検温器・消毒液・空気清浄機等の設置・入場制限などを徹底しまして、当日は200名を超え、幅広い世代の方が来場し、楽しく鑑賞しました。

我々役員一同無事に文化祭を終了することができ、連帯感を確認する貴重な機会になりました。



町会に加入しましょう！

町会は住民の皆さんと共に災害時の対応、隣近所との絆づくり、いざという時の相互扶助など地域のために様々な活動を行っています。町会活動に対してご理解をいただき、積極的に参加してください。



●安全・安心な暮らしを守る活動

自主防犯パトロール、自主防災組織、防犯灯の維持管理、交通安全活動など

●親睦活動

お祭りの開催や、子ども会、シニアクラブへの協力など

●地域環境美化活動

清掃活動、ごみ集積所の維持管理など

●地域情報活動

回覧板や広報紙の配布による地域の情報伝達など

●地域福祉活動

子どもや高齢者の見守り活動など

下多田町会防災訓練

開催した経緯

近年、大雨や台風などにより全国各地で災害が多発し、多くの被害が発生しています。本市においても、令和元年東日本台風は多くの被害をもたらした。多田町では河川増水により安蘇川橋が崩落するなどの被害がありました。



このような状況により、防災意識の向上及び災害発生時の被害軽減を図ることを目的に、住民参加の実践的な訓練を実施することとなりました。



▲情報伝達訓練

避難訓練及び防災講習

9月25日(日)「下多田町会防災訓練」が、多田小学校体育館において開催されました。当日は、台風が栃木県に接近し「警戒レベル3高齢者等避難」が発令された想定で訓練が行われました。

情報伝達訓練から始まり、避難所に住民が避難するなど、関係機関等合わせて約100人が訓練に参加しました。

避難後は、市危機管理課から防災講話、避難所における感染症対策の説明が行われました。その後、救急救命訓練、避難所開設・運営訓練を行い、参加者は実際にAEDや避難所物品等の取り扱いを体験しながら、災害発生時の対応策について学びました。



▲救急救命訓練

「防災で地域づくり」は町会活動の要

下多田町会 町会長 尾崎 始

防災訓練は5年目を迎えました。秋山川が流れる本町会では、令和元年東日本台風の洪水被害の教訓から、命や財産を守るため、防災訓練は重要な町会活動であるとの思いが高まりました。今年は段ボールベットやパーティションの組立作業、救急救命(AED)等の参加型研修を行い、真剣に取り組む参加者を見て、今後でも「防災で地域づくり」を町会活動の要としたいです。



▲段ボールベット組立作業

受賞おめでとうございませう

長年にわたって町会活動に貢献された方が、佐野市町会長連合会表彰、栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰をそれぞれ受賞しました。(敬称略)

◇佐野市町会長連合会表彰

【永年在職町会長20年表彰】

上岡 良雄 浅沼町

【永年在職町会長10年表彰】

黒田 昭雄 若松町(城西)

加藤 忠雄 植下町

久村 純二 犬伏上町

森下 義巳 大釜

【永年在職町会長5年表彰】

中野 隆義 高砂町

関 隆幸 万町(佐野)

梅澤 一雄 金井上町

片柳 孝夫 金吹町

太田 春樹 若松町(城南)

金子 準二 植上町

五十嵐 勝三 若宮下町

島田 和雄 田島町

永島 一夫 新吉水町北

【通算5年以上在職町会長・役員表彰】

湯澤 繁 大蔵町

相場 照夫 犬伏中町

須藤 由紀夫 西浦町

田中 幸一 並木町(堀之内)

大芦 恵久雄 石塚町(下)

島田 俊夫 石塚町(上)

鎌田 篤夫 出流原町

田中 朝治 上多田
藤掛 正男 山形

【通算5年以上在職役員表彰】

柳田 光三 朝日町

川島 晴雄 天神町

中沢 文次郎 植野町(泉)

亀山 康夫 植上町

荒井 哲郎 植上町

松本 弘 荻川町

関根 一郎 富岡町(北部)

白澤 道男 富岡町(安良町下)

葛西 雅人 堀米町(朱雀)

加藤 純一 堀米町(朱雀)

船田 純一 堀米町(朱雀)

田中 一夫 上仙波

◇栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰

1月20日、栃木県自治会連合会会長研

修大会(於：宇都宮市文化会館大ホール)

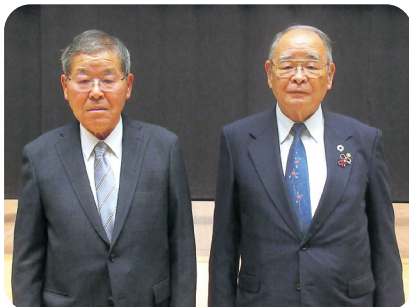
山根 實 大橋町(西部)

厚木 健志 若松町(城東)

加藤 忠雄 植下町

竹川 鉄彦 堀米町(七区)

栃木県自治会連合会会長研修大会



▲左から竹川町会長、厚木町会長

市民活動モデル町会の取り組み紹介

佐野市では、住民主体のより良い地域をつくるために、住民が主体となって取り組む元気な地域活動の募集を行い、採択となった町会を「モデル町会」として、助成金の交付、活動のPRなどで支援しています。詳しくは、佐野市市民活動促進課までお問い合わせください。 問合せ：佐野市市民活動促進課 Tel20-3812

堀米運動場の整備

堀米町(内堀米)町会

町会長 田口 巳則



内堀米町会は堀米駅のすぐ東側に位置します。町内の周辺には城北小や北中などがあり、町内が通学路になっています。子どもたちの安全を守るために、ボランティアの方が登下校時に見守りをしています。

町内には、こどもの国に隣接して、町会で管理する堀米運動場があり、ゲートボールとグラウンドゴルフの愛好会の方が使っています。今回、より使用しやすく、多くの人たちが集まれる場所となることを考えて、運動場の整備計画を立てて市民活動モデル町会支援事業に応募しました。



▲輪なげ大会

整備の方法は地域の方による奉仕活動が中心です。草むしり、ゴミ拾い、不要品廃棄、除草剤散布などを実施しています。また、休憩所や案内板等も修繕しました。

活用としては、町会や団体などの屋外イベントを考えております。現在はサロンの主催で「元気に散歩しよう」を実施しています。また、散歩の休憩所として集い、輪投げやグラウンドゴルフなども楽しんでいきます。春には桃や桜の花が咲き、花見もできます。このような活動を通して地域の人たちの親睦がさらに広がれば幸いです。



▲除草作業

山園グラウンド等環境整備事業

山形町会

町会長 遠藤 和穂



山形町会は、市の北西部に位置し、約350世帯、人口約900人で構成されています。

彦間川沿いに、3000㎡程度の、山園(山形町と梅園町の総称)グラウンドがあり、かつては学童野球、ゲートボール、地区の催しなどに使われていました。現在は週3回グラウンドゴルフに使用されています。

町会活動の目的の1つとして、住民同士が顔見知りになってもらうことがあり、重要なことだと思っております。それには場所の提供が必要であり、このグラウンドを整備し快適に集まれる場所にする必要を感じました。

そのために、周辺の樹木の枝切り、除草、花壇の整備、外壁ネットの張り替え、休憩所のテーブル、椅子等の更新、さらにここに設置されているコミュニティ関係の倉庫の不要物の廃棄等を20名程度で行いました。来年度も継続して行う予定です。



▲グラウンドゴルフ

この近傍は、自然豊かな山、川、歴史的には戦国時代に活躍した天徳寺宝行の菩提寺や、NHKの大河ドラマ『鎌倉殿の13人』でも話題になった源義高公の墓所といわれている遺跡等もあり、散歩、散歩をされる方々も多くみられます。地域活性化の行事に使用してもらうこと以外にも、散策、散歩の途中に腰を下ろし世間話をする場所としても活用していただき、町会の活性化、町会会員同士の親睦の醸成につながればと考えております。



▲外壁ネットの張り替え作業

編集後記

◆新型コロナウイルス感染症も夏に向けて減少傾向が見られました。旅行支援対策事業も再開し行動制限が一部解除、日常生活が戻りつつあります。ワクチン接種が進み、感染者が減少に向かっているようです。医療機関、関係各位のご努力に感謝申し上げます。

◆各種表彰を受賞された役員の皆さま、おめでとうございます。日頃の諸活動のご努力に対し、心より敬意を表します。今後も更なるご活躍をご祈念いたします。

◆各地域・町会の事業が、関係者のご尽力で行動制限下にもかかわらず実施されている事をうれしく思います。

◆ロシアによるウクライナ侵攻や物価高騰など、暗い話題が続く中、今回開催されたサッカーワールドカップにおいて、日本が健闘し、楽しみを味わうことができました。◆「暮らしに笑顔」前を見て過ごしましょう。(齋藤記)

発行者

佐野市町会長連合会

〒367-8601

栃木県佐野市高砂町1番地

佐野市役所 6階

☎0283-20-3812

発行責任者

編集部長

編集部会長

編集部員

白澤 義久

久村 純二

三村 和夫

須藤日出夫

塚田 芳夫

片柳 孝夫

萩原 孝雄

大出 治夫

須藤日出夫

塚田 芳夫

アドバイザー

佐野市町会長連合会

市内全域167町会で

組織されています。